

S字魚道やサイホン式発電施設

砂防ダムで見学ツアー

揖斐川町

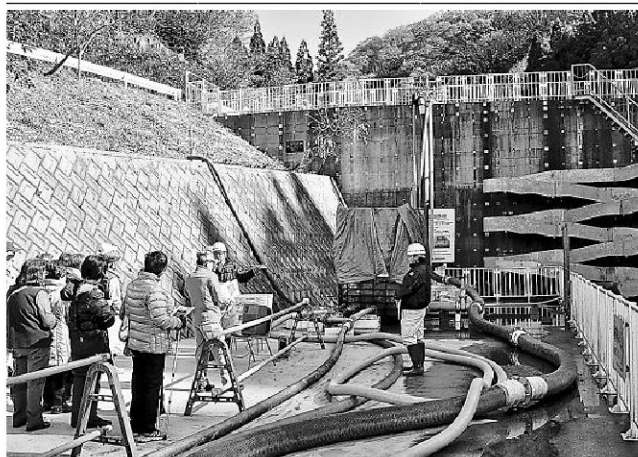
大野町稲畑の山辰組と題して実施した。

(馬淵和三社長)が揖斐川町坂内坂本の砂防ダムで手掛けた鋼製たて型壁面魚道とサイホン式小水力発電施設の見学ツアーが19日行われ、参加した名古屋市の15人が日本初の砂防施設について理解を深めた。

中日本高速道路が企画。日本一のロックフィルダムの徳山ダムを加え、「揖斐川水系で3つの日本一を学ぶ」

魚道はS字状で、従来のらせん状の魚道に比べ、水流の加速が抑えられる上、小さい面積で設置できる。また折り返し型よりも工期が短く、コストも低減できるという。発電施設は馬淵社長が考案した電力を使わずに水を吸い上げるサイホン式排水装置を利用。同様の原理による排砂装置も設置している。

参加者は、水を吸い上げて排水し、発電装置で電球が点灯する様子を見学。興味津々で見入り、盛んに質問していた。ツアーは27日(森嶋哲也)



鋼製たて型壁面魚道と、サイホン式小水力発電施設を見学する参加者ら＝揖斐川町坂内坂本